

実務経験証明書

記入例

次の者は、土木一式工事に関し、次のとおり実務の経験を有することに相違ないことを証明します。

●年●月●日

入札案件の工種を記載してください。
下記実務経験の内容には、ここに記載した工種と同種工事の実績を記載してください。
他工種の実務経験として使用した期間との重複はできません。

証明者の立場からみた被証明者との関係を記載してください。

証明者 _____ 被証明者との関係 _____ 記 _____ 茅ヶ崎市茅ヶ崎●—●—●
●●株式会社 代表取締役 ●●
従業員 在籍期間を記載してください。

技術者 氏名	茅ヶ崎 ●●	生年月日	●年●月●日	使用された期間	●年●月から●年●月まで
使用者 商号 又は名稱	●●株式会社				
職名	実務経験の内容			実務経験年数	
工事主任	●●工事他				平成16年2月から平成16年12月まで
〃	●●工事他	【実務経験年数について】			平成17年1月から平成17年12月まで
工事課長	●●工事他	<p>●連続する期間、複数の建設工事に切れ目なく従事していた場合は、1行につき1年を超えない範囲でまとめて記載してください。ただし従事していない月が1月以上ある場合は、まとめて記載することはできません。</p> <p>●1行で1年に満たない期間を記載した場合には、実務経験年数の始めの月は実績の対象となりません。</p> <p>●連続する期間、複数の建設工事に切れ目なく従事していた場合の、始期年の始めの月及び終期年の終わりの月は、実績の対象となりません。</p> <p>(例1) 実務経験合計 19か月 ・平成16年2月～12月 → 10か月 ・平成26年1月～10月 → 9か月</p> <p>(例2) 実務経験合計 35か月 ・平成23年10月～12月 → 2か月 ・平成24年1月～12月 → 12か月 ・平成25年1月～12月 → 12か月 ・平成26年1月～10月 → 9か月</p> <p>(例3) 実務経験合計 44か月 ・平成27年1月～12月 → 11か月 ・平成28年1月～12月 → 12か月 ・平成29年1月～12月 → 12か月 ・平成30年1月～10月 → 9か月</p> <p>●実務経験の期間は重複しないように記載してください。従事期間が重複する場合、いずれか一方の期間で計算します。</p>			平成18年1月から平成18年12月まで
〃	●●工事他				平成19年1月から平成19年12月まで
工事部長	●●工事他				平成20年1月から平成20年12月まで
〃	●●工事他				平成21年1月から平成21年12月まで
〃	●●工事他				平成22年1月から平成22年12月まで
〃	●●工事他				平成23年1月から平成23年12月まで
〃	●●工事他				平成24年1月から平成24年12月まで
〃	●●工事他				平成25年1月から平成25年12月まで
〃	●●工事他				平成26年1月から平成26年10月まで
職名がない場合は「主任技術者」等、従事した立場を具体的に記載してください。					年 月から 年 月まで
					年 月から 年 月まで
		法人の解散等、正当な理由により過去の使用者の証明を得ることが出来ない場合のみ記載してください。			年 月から 年 月まで
使用者の証明を得ることができない場合はその理由					合計 満10年7月

記載要領

- この証明書は、建設業に係る建設工事の種類ごとに、被証明者1人について、証明者別に作成すること。
- 「職名」の欄は、被証明者が所属していた部課名等を記載すること。
- 「実務経験の内容」の欄は、従事した主な工事名等を具体的に記載すること。
- 「合計 満 年 月」の欄は、実務経験年数の合計を記載すること。

使用された期間ではなく、実務経験年数の合計を記載してください。
こちらに記載する期間が、実務経験年数の確認対象となります。